

投 稿 規 定

投稿資格 本誌に投稿するものは原則として本会会員に限る。

投稿内容 本誌には原著論文、症例報告、総説等を掲載する。これらは未発表のものに限り、他誌との二重投稿は認められない。

臨床研究の成績発表を旨とする論文は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成27年4月1日）を遵守し、患者プライバシーを十分に守る。また、必ず施設内審査委員会（IRB）もしくは倫理委員会（REC）の承認を得たうえで、本文にその旨を明記（IRB番号など）して提出する。

症例報告には個人が特定されない配慮が要求されるが、倫理委員会の承認およびインフォームドコンセントは必ずしも必要とされない。但し、10症例以上を対象に研究される場合は、倫理委員会の承認を原則必要とする。

上記に関する詳細は下記を参照すること（平成29年3月現在）

○世界医師会「ヘルシンキ宣言」

○「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成27年4月1日）

その他、疫学研究や遺伝子解析等の研究に関しては下記を参照すること

○「疫学研究に関する倫理指針」（平成19年文部科学省）

○「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」

○「遺伝子治療臨床研究に関する指針」

○「生命倫理・安全に対する取組」（平成19年文部科学省）

- 原 稿**
- 1) 用語は、和文、英文のいずれでもよく、和文の場合は、横書き、口語体、平がなを用い、現代かなづかいによる。
 - 2) 数字は算用数字を用い、計数の単位はメートル法に従い、km, m, cm, mm, L, mL, kg, g, mg, μ gのように記載し、ピリオドは省略する。
 - 3) 論文の記述の順序は表紙に標題、所属、共著者名（日本語、英語）、2頁目に概要（邦文800字以内）とキーワード（日本語5つ以内、英語3つ以内）、3頁目に英文抄録200語以内（double spaceで入力のこと）、4頁目以降に緒言、方法、成績、考察、文献、図の説明の順に記載する。
 - 4) 略語は初出時に正式語をつける。英文略語は初出時に正式語と日本語訳を併記する。
 - 5) 図表を他誌、他書より引用する場合（著者自身の既発表論文の場合も）は、必ず出典を明示し、以下の文献引用の記載に従って明記する。
 - 6) 図のタイトルおよび説明は論文の最後の項目として記載する。表にはタイトルおよび説明を記入する。図表の説明は必ず本文と同じ言語とし、図表中の文言も原則として本文と同じ言語とする。図表は本文中には貼り付けず、必ず1枚ずつ別紙にて提出する。
 - 7) 本文中では引用部位の右肩に文献番号^{1,2}を付ける。引用文献は、末尾に一括して引用した順に掲げる。雑誌の場合、著者名全員、題名、誌名、年；巻：始めの頁－終わりの頁、の順とする。単行本の場合、著者名全員、題名、書名（英文はIn：書名）、編者名、発行所、所在地；年：始めの頁－終わりの頁、の順とする。次の記載法による。

- 1) 西川 鑑, 明石祐史, 林 巧, 二瓶岳人. エジンバラ産後うつ病自己スケールを用いた産後健診での産後うつ病のスクリーニング. 北産婦誌 2006; 50: 20-24.
 - 2) 山野修司. 体外受精の過排卵刺激. 産婦人科におけるホルモン療法の実際, 青野敏博編, 永井書店, 大阪; 1994: pp116-122.
 - 3) Coates BJ, Broderick TL, Batia LM, Standley CA. MgSO₄ prevents left ventricular dysfunction in an animal model of preeclampsia. Am J Obstet Gynecol 2006; 195: 1398-1403.
 - 4) Hug E, Brown L, Erdmann E. The ouabain receptor in the myocardium and conduction system of the sheep heart. In: Cardiac Glycosides, Erdmann E, Greeff K, Skou JC ed., Springer Verlage, New York; 1986: pp61-68.
- 8) 英文投稿ならびに, 英文抄録に関して以下のことに留意する。
- 1) 英文は必ず専門家の校正を受けて, 証明書を添付する。
 - 2) 校正業者に依頼する場合は筆者が自身で依頼するか, 要望があれば本学会事務局が連絡先を紹介する。いずれの場合も費用負担は筆者自身である。

原稿の採否 原稿の採否は編集部委員会より委嘱された査読者の意見をもとに, 編集部委員会において決定する。また, 原稿は査読者の指摘事項にしたがって, 加筆, 削除, 修正などを求めることがある。

著作権 本誌に掲載する論文の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権・二次的著作物利用権は北海道産科婦人科学会が保有する。

校正 著者校正は, 原則として初校において行う。

掲載料 論文1編につき10,000円(内税)を徴収する。ただしこれにはPDFファイルデータならびに別刷り30部の費用を含む。別刷りの追加印刷は投稿者の実費負担とする。

原稿送付先 原稿はソフト名(バージョン名も)を明記しCDR等にて郵送, あるいはメールでの投稿とする。当誌に掲載希望の場合は, 査読制度を取り入れているため, 発刊前年の11月30日までの投稿を対象とする。発刊年3月1日時点で査読中の論文は, 発刊年の本誌には掲載することは原則できない。

〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目
北海道大学大学院医学研究科産婦人科学教室内
北海道産科婦人科学会事務局
メールアドレス: hokusamp@med.hokudai.ac.jp

平成23年10月16日改定
平成26年8月17日改定
平成29年3月26日改定
平成30年4月1日改定
平成31年4月1日改定

